

## 平成 23 年度 青森県営浅虫水族館の管理運営状況

県所管課	観光国際戦略局 観光企画課
指定管理者	青森水族館管理株式会社 代表者 神 正人
指定期間	平成 21 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

### 1 管理業務の実施状況

業務区分	概 要
展示生物の飼育・展示	特徴ある常設展示と話題性のある特別企画展示を実施した他、海獣館ではラッコ等各動物の食事風景も公開した。
イルカショーの実施	通常のショープログラムの他、季節毎の特別バージョンを交えて感動とお客様との交流を重視したショーを実施した。
企画・広報・営業活動	ほぼ毎月催事を実施できるようイベントを企画し、各マスメディアを利用しての広報や営業活動に努めた。
売店運営	利用者のニーズを把握しサービスの向上と効率的運営に努めた。
施設・設備の維持管理	年次計画による計画的な維持管理と日常的な保守作業により安定的な施設運営ができるように努めた。

### 2 管理施設の利用状況

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
施設利用者数	H 2 0	/	303,837 人	(指定前の実績)	
	H 2 1	330,000 人	311,228 人	94.3%	102.4%
	H 2 2	340,000 人	283,279 人	83.3%	91.0%
	H 2 3	360,000 人	315,479 人	87.6%	111.4%
	H 2 4	360,000 人			
	H 2 5	360,000 人			
利用料金収入等	H 2 0	/	298,945 千円	(指定前の実績)	
	H 2 1	313,000 千円	323,926 千円	103.5%	108.4%
	H 2 2	328,000 千円	286,467 千円	87.3%	88.4%
	H 2 3	341,000 千円	321,899 千円	94.4%	112.4%
	H 2 4	341,000 千円			
	H 2 5	341,000 千円			

#### 【増減理由】

平成 23 年度は、震災の影響で利用者数が落ち込んだ前年度に比較すると 10%以上の増加となり、ほぼ例年並みの利用者数に戻ったが、新幹線開業による利用者増を見込んで高く設定した計画値には及ばなかった。今後もマスメディアを利用した話題提供等により浅虫水族館の知名度向上を図り、利用者数の増加に努めるようにしたい。

### 3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	B	B	従前より行っているアンケートを参考にし、館内表示、休憩所、売店等館内の環境整備を図り利用者の利便性の向上に努めている。また、利用者満足度調査においても、高い評価を得ている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	B	B	季節毎にイベントを開催し、県内をはじめ東北各県、北海道まで広くPRを実施しており、リピーターの確保に努めている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	B	施設、設備の維持管理及び修繕を適切に行いつつ、経費の節減に努めている。備品管理も改善され、適正に管理されている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	B	事故発生時の連絡系統、通報・避難・消火を基本とした消防訓練の実施及び医療休憩室の整備が行われている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	B	B	毎月の定期報告書、四半期毎の経理状況報告、収支決算により執行を確認している。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	B	B	施設利用者数においては、前年実績を上回ったが、新幹線効果を見込んで高く設定した目標に達しなかった。今後も、きめ細やかなサービスを提供し、集客増に努めること。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	B	B	管理運営に伴い取得した個人情報等については、青森県個人情報保護条例等により適正に運営できるよう情報管理者を定め、情報保護教育の実施等に努めている。
総合評価	B	B	利用者満足度調査において高い評価を得ており、施設利用者数、収入ともに前年実績を上回っている。経費節減に努力し、県の委託料を縮減するなど、多くの項目において評価できる。

#### ○評価基準

- A (優) : 適正であり、優れた実績をあげている
- B (良) : 適正である
- C (可) : 概ね適正であるが、一部改善を要する
- D (不可) : 改善や更なる取組が必要